

【六甲高山植物園】一面に広がる黄色の花畑 約2,000株の「ニッコウキスゲ」が見頃です！

六甲山観光株式会社(本社:神戸市 社長:寺西公彦)が六甲山上で運営を行っている六甲高山植物園では、「ニッコウキスゲ」が見頃を迎えました。

高原にさわやかな夏を呼ぶ花として知られるニッコウキスゲ。関西地域以西には自生地がないため、一面に広がる様子は非常に貴重です。今年は梅雨明けが早く気温が高い日が続いたため1週間早く見頃を迎えました。現在、ロックガーデン横にて約2,000株の群落をご覧いただけます。黄色い絨毯のように広がる鮮やかな景色は、写真や映像にもよく映えます。



◆ニッコウキスゲ(ススキノキ科)

北海道、本州(中部以北)の亜高山帯の湿り気がある草原に生える多年草です。尾瀬や霧ヶ峰の群落が有名で、高さは40~70cmになります。花は一日花で、朝開いて夕方には閉じてしましますが、一本の茎にたくさんの蕾をつけ、それが次から次へと咲くために、全体としては長い期間楽しむことができます。当園に咲くニッコウキスゲは、現在見頃を迎え、7月下旬までお楽しみいただける見込みです。



◆お問合せ先

六甲高山植物園

TEL: 078-891-1247 / FAX: 078-891-0137

住所: 〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲4512-150

◆営業概要

【開園期間】~11月23日(水・祝) 【休園日】7月7日(木)、14日(木)

【開園時間】10:00~17:00 (16:30受付終了)

【入園料】大人(中学生以上)700円/小人(4歳~小学生)350円

※新型コロナウイルス感染症の影響により、営業・イベントの内容を変更・中止する場合があります。